

研究主題

学ぶ喜びを実感できる「個別最適×協働」型の授業デザイン

4年1組

国語 わたしのクラスの「生き物ずかん」

中学年の目指す児童像

- ・ 児童同士で学び合い・高め合っている姿
- ・ 友達の意見を聞きたい！という姿。
- ・ 粘り強く考える姿。

SPCに当てはめた授業デザインと、それに伴う手立て

S (SELECT)	P (Plan)	C (Collaborate)
授業のデザイン 自分の「伝えたい」テーマを選択肢から選ぶ	進捗表を基に、自分の学習の進捗を確認し、時間内に完成するように調整する	友達と伝え合う・見せ合うことで、よりよいリーフレットづくりに取り組めるようにする
手立て ○テーマに幅を設ける ○先生の見本（3種類） ○デジタルと手書きの選択	進捗表を見ながら、同じ段階にいる友人に共有したり、先に進んでいる友人に聞いたりしながら、学びを自ら進められるようにする	授業の中盤に「読み合いタイム」を意図的に設定することで、友人と交流しながら、よりよいリーフレットづくりができるようにする。

授業の視点

- S 自己選択 児童の興味関心に合わせたテーマを設定したことが本単元において適切であったか？
- P 計画 進捗表があることで、リーフレットづくりに見通しを持って取り組めていたか？
- C 協働 授業中盤に読み合いタイムを設定することがその後のリーフレットづくりにいかされていたか

